



青森県指定天然記念物「^{さいこうじ}西光寺のシダレザクラ」の里帰り

— ^{りんぼく}林木遺伝子銀行 110 番による巨樹・名木等のクローン増殖の取組 —

ポイント

青森県野辺地町にある推定樹齢約300年以上の県指定天然記念物「^{さいこうじ}西光寺のシダレザクラ」（青森県野辺地町寺ノ沢）の後継樹が、国立研究開発法人森林研究・整備機構 ^{りんぼく}森林総合研究所林木育種センター東北育種場から青森県野辺地町に里帰りします。

概要

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター東北育種場(岩手県滝沢市)では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。

この事業では、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を行うとともに、事業の一環として、所有者等の要請により後継樹を増殖する取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を行っています。

今回は、青森県野辺地町にある「^{さいこうじ}西光寺のシダレザクラ」の後継樹として、つぎ木によって増殖し育てた苗木が里帰りします。

日時：令和7年4月26日（土） 午前11時00分

場所：青森県上北郡野辺地町寺ノ沢 90（西光寺）

問い合わせ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター東北育種場

事業責任者：遺伝資源管理課 課長 竹田 宣明（たけだ のぶあき）

担当者： 収集管理係 小川 広大（おがわ こうだい）

広報担当者：連絡調整課 連絡調整係長 濱本 光（はまもと ひかる）

Tel：019-688-4518 Fax：019-694-1715

メールアドレス：touhokuikusyu@ffpri.affrc.go.jp

※取材される方は、事前に上記連絡先までご連絡ください。

本資料は、青森県政記者クラブに配布しています。

背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。一方で、樹木の中には衰弱しているものもあり、後継樹を増殖することが求められていました。

このため、林木育種センター^{りんぼく}では、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により衰弱しているこれら樹木の後継樹を増殖し、里帰りをを行う取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。これまでに、全国から 333 件の要請があり、255 件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました（令和 5 年度末）。後継樹は、さし木やつぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていることから二代目として大きく成長することが期待されます。

内容

今回里帰りするのは、青森県指定天然記念物である「西光寺のシダレザクラ」^{さいこうじ}です。

この「西光寺のシダレザクラ」の推定樹齢は約 300 年以上、幹は 2 つに分かれ、目通り幹周囲は、それぞれ約 2.64m および 1.55m、樹高約 5m に達する巨木で、シダレザクラの本来の自生地ではない青森県で、推定樹齢が 300 年を超える「西光寺のシダレザクラ」は貴重であり、毎年春には美しい花をつけ、その風情ある姿が人々に親しまれています。

しかし、幹の空洞化が進んで中央部分が欠損し樹勢が衰えてきたため、西光寺から林木遺伝子銀行 110 番への要請がありました。今回里帰りする苗木は東北育種場（岩手県滝沢市）が令和 5 年（2023 年）2 月 24 日に穂木の採取を行い、つぎ木を成功させたものです。つぎ木により 20 本増殖を試みたところ、10 本の苗木を育成することに成功しました。今回里帰りする苗木は、このうちの 3 本で、そのうちの 1 本が西光寺の敷地内へ植栽されます。

この苗木は、つぎ木により増殖されたクローン苗木であることから、親木と同じ遺伝子を持っており、二代目の「西光寺のシダレザクラ」として成長することが期待されます。

図、表、写真等



「西光寺のシダレザクラ」^{さいこうじ}の原木
所有者 ご提供（令和 5 年 11 月）



「西光寺のシダレザクラ」^{さいこうじ}の枝を
つぎ木して育てた後継樹（令和 6 年 7 月）